



ひょんなことから設立されたエクサイトだったが、持ち前の突進力で前進、前進、前進。

山口は燃えていた。頑張れば頑張っただけ会社は前進していく。

そんなある日、近くのファミリーレストランでご飯を食べていると

窓から見える建物に人だかりが…。

そして、人だかりの向こうには炎が上がっていた。

「うわ～、気の毒に。火事だわ…。」

そう口ずさんだと同時に“志村けん”ばりの三度見をしてしまった。

そこには、ノリノリの炎で盛り上がっているエクサイトがあった。

人生には3つの坂がある。

1つ目は上り坂。まさにこれまでのエクサイトがそうだった。

2つ目は下り坂。上りがあれば下りもある。

そして、3つ目は「まさか!」である。

まさに3つ目の坂だった。

会社は全焼、社員は無事だったものの、また振り出しに戻る事になったのだ。

アホはあきらめる事知らない。

普通であれば「あ～あ…」となってしまうところを

山口はこれを機に「ファイヤーセル(大売り出し)」を決意する。

なんと、これが大ヒット。

火事をキッカケになぜか会社は急成長し、

数年後、エクサイトは九州の長者番付に名を連ねるようになった。

エジソンは5000回実験を繰り返した末に電球を発明したが、

4999回は失敗だったのだろうか?

2000回目の実験を終えた時、体を心配した新聞記者が

「もうやめたら」と忠告。それに対し、エジソンは

「残り3000回だ。じき成功するよ。」と答えた。

壁は扉!

成功するか、失敗するか、ではなく、

挑戦をしていくことが大切なのではないか。

当然、挑戦をすれば成功だけではない。

失敗することもあるだろう。

但し、たとえ失敗したとしても飲み会の時に誰かが

その失敗談で笑ってくればネタになる。

そんなことを考えてきたのだった。

壁だと感じているものは、後から振り返れば

新しい可能性の扉だった。